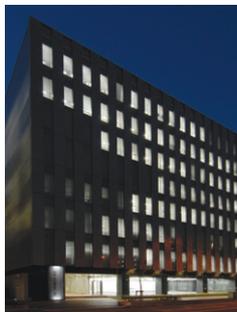


COI 高松ビル



所在地：香川県高松市寿町2丁目2-1他
 建築面積：1,204.87㎡
 延床面積：9,506.36㎡
 構造・規模：鉄骨造、地上8階
 設計・監理：大成建設(株)
 施工：大成建設(株)
 竣工：平成19年6月

天井高さは高松市の最高水準2.8m、ワンフロア約250坪、高い居住性のある無柱のオフィス空間とした「COI高松ビル」。基準階の照明は、32WHf蛍光ランプ1灯用ライン形システム天井器具調光形を採用し、初期照度補正制御及び昼光利用制御で、快適かつ省エネを両立しています。

天井高さ2.8mの無柱空間。万全なセキュリティ対応など、希少性の高いハイスペックオフィスビル

高松市のメインストリートである中央通りに面して建てられた地上8階建ての「COI高松ビル」は、外観にアルミカットパネルと縦連窓を採用し、ガラスの被覆からスリット状のマスが浮か上がる伸びやかで清たい印象を与えるテナントオフィスビルです。

ワンフロア約850㎡の広さで、ほぼ整形の無柱空間とし、天井高さは高松市の最高水準2.8mの明るく、広々とした執務ゾーンが形成されています。また、非接触カードリーダーシステムを取り入れ、館内は無人管理で24時間稼働できるテナントオフィスとして、入居者・来客・清掃など、テナント入退室管理を昼夜において全て自動で可能なシステムとした万全なセキュリティが構築されています。

基準階にFHF32W1灯用ライン形システム天井器具を採用。初期照度補正、昼光利用制御で快適かつ省エネ

照明設備は、基準階オフィスフロアでは、間仕切り変更へのフレキシブルな対応、器具の効率化、照度分布の均一化などを考慮し、Tラインシステム天井用32WHf蛍光ランプ1灯用調光器具を採用。1.8mピッチで配置された設備ラインに照明器具のほか照度センサ、空調吹出口・吸込口、スプリンクラーヘッドなどの設備を集約し、すっきりとした天井デザインが形成されています。照明制御は、各フロア8分割までゾーンングできるように照度センサを割付け、あらかじめ設定した適正照度(750lx)を維持しつつ、初期照度補正制御と昼光利用制御により、余剰な明るさをカットして省エネを図っています。

また、トイレと階段は人感センサとの連動により、人を感知して自動点滅制御及び25%の減光制御を行っています。

1階の風除室・エントランスホールは、乳白のガラス壁面に内蔵した蛍光ランプ(FHF32W)からの透過光により、自然採光風の柔らかな表情をもつ奥行き感のある光壁となっており、エントランスホールの奥には光庭が配されています。天井はスリット状の意匠とし、その内部にダウンライト(35WマスターカラーCDM-TC)を設置したことにより、リズムカルな光を表出しています。

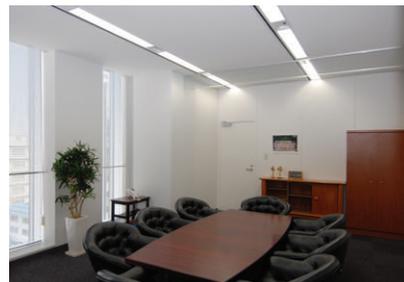
ガラス越しにある奥の光庭は、夜にはLED(屋外用ライン器具)でほどよく照らした壁をバックに、樹木を地中埋込形投光器(CDM-T70W)でライトアップ。安らぎの空間が形成されています。



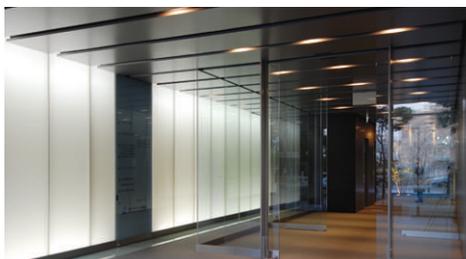
8階オフィスフロア執務室((株)東芝 四国支社)の照明 システム天井用32WHf蛍光ランプ1灯用調光器具を採用。初期照度補正制御、昼光利用制御で省エネを図りつつ、適正照度を確保



8階フロア打合せコーナー((株)東芝)の照明 システム天井の設備ラインに照明器具のほか照度センサ、空調吹出口等を集約設置



間仕切りで分割されている8階フロア会議室((株)東芝)の照明



1階風除室・エントランスホールの照明 ガラス壁面からの透過光による柔らかな光壁とスリット状の天井にはCDMダウンライトを設置



光庭の照明 壁をほどよく照らすLED照明をバックにして樹木を地中埋込形投光器でライトアップ

■主な照明器具一覧

設置場所	器具名	形名	台数	ランプ
室内	システム天井用器具	FHM-41520N-PD9	2041	32WHf蛍光ランプ
		笠なし器具	FHT-41007N-PA9 FHT-41008-PH9	75 75
	ダウンライト	FHD-31016-PM9	75	32Wコンパクト形蛍光ランプ
		DD-07141(K)	33	CDM-TC35W
		FLD-2762(V)-ELB-KAI	151	27Wコンパクト形蛍光ランプ
光庭	LED屋外用ライン器具	LET-01019W-XW1	16	LED(5W)